

茨城大学全学教育機構論集 投稿規程

全学教育機構 学術委員会

1. 投稿できる論文

本論集は大学教育研究の活性化と進展に寄与することを主眼とし、a.大学教育研究と b.グローバル教育研究の2つの分野を置く。

a. 大学教育研究においては、大学教育に関する未発表の原著論文、教育実践報告を主な対象とする。このほか、大学教育に新たな視点や展望を与えるもので大学教育に有益であると思われる総論、レビュー等についても、全学教育機構論集編集委員会（以下、編集委員会）の承認を経て「大学教育の窓」として投稿できるものとする。

b. グローバル教育研究においては、日本語・日本事情教育、日本語学、留学生教育、外国語教育、グローバル教育、国際理解教育、異文化間教育等に関する未発表の原著論文を主な対象とする。

原著論文とは、各領域における先行研究を踏まえて、オリジナリティのある研究成果が具体的かつ論理的に述べられているものとする。研究課題が明確に設定されており、分析を通して課題への解答や提言等が示されていることを必要とする。

使用言語は日本語または英語とする。

なお、編集委員会は全学教育機構学術委員会を中心に組織するものとする。

2. 投稿資格

a. 大学教育研究

著者のうち、少なくとも一人は茨城大学教員（特任教員、非常勤教員含む）であることを原則とする。「大学教育の窓」への投稿に関しては、茨城大学教員に限らないものとする。

b. グローバル教育研究

著者のうち、少なくとも一人は茨城大学教員（特任教員、非常勤教員を含む）および海外協定校等本学のグローバル教育に携わっている者であることを原則とする。

3. 発行

原則として年1回とする。

4. 査読

a. 大学教育研究

大学教育研究においては原著論文のみ査読を行う。査読は、編集委員会が委嘱する全学教育機構の教員またはそれ以外の専門研究者により行われ、査読者の審査に基づき、編集委員会がその結果を審議の上、承認する。提出された論文については、編集委員会にて検討の上受理する。規定に著しく反するなど、大きな修正や書き替えを要する場合は、受理せず翌年度に回すことがある。

b. グローバル教育研究

グローバル教育研究においては査読を行う。査読は、編集委員会が委嘱する全学教育機構国際教育部門の教員またはそれ以外の専門研究者により行われ、査読者の審査に基づき、編集委員会がその結果を審議の上、承認する。

5. 著作権

- 1) 本論集は冊子形式ではなく、電子ジャーナルとしてのみ配布・配信される。
- 2) 本論集に掲載された論文及び報告の著作権は、著者が有するものとし、編集委員会はこれらの著作物について全学教育機構論集をはじめ公開する権利を有する。
- 3) 図・表及び著作物の半分以上の引用等に関して発生する著作権問題の処理は、有料の場合でも著者の責任で各自が行うものとする。具体的には、図・表など掲載物発行者または製作者本人、故人である場合は遺族等の著作権継承者またはその他代理人等に対し、引用に関わる了承を事前に得るものとする。写真の肖像権に関しても、掲載の了解を得るなどの処理をし、引用物については、電子化され公開されることを説明し、了解を得ておくものとする。特に、写真や絵画などを高精細画像として使用する場合は、もとの著作者の許諾が必要になる。
- 4) 著者は、茨城大学学術情報リポジトリによる掲載論文の電子化公開について承諾するものとする。

6. 研究者倫理

- 1) 著者は、論文及び報告の内容が研究者倫理に反しないよう留意する。
- 2) 著者は、論文及び報告中に記載された個人等のプライバシーが守られるよう配慮する。例えば、インターネット等を通して論文が公開されたときに、論文及び報告中において匿名とした人物が判定されることがないように配慮する。

7. 掲載された論文及び報告の訂正と撤回

- 1) 著者からの申告により、論文及び報告内容に重大な誤りがあると学術委員会が認めた場合に限り、訂正を認める。その際、訂正前の論文に続けて、訂正箇所に関する記事を追記することで対応する。なお、重大な誤りとは数式や著者名などの誤りであり、読者が容易に判定できる軽微な誤り（誤字・脱字など）の訂正は認めない。

2) 不適切な分析方法など論文に重大な誤りや研究上及び執筆上の不正行為が発見された場合は、著者の申し出の如何に関わらず、論文の撤回を求めることがある。なお、撤回論文については、リポジトリから消去はせず、論文内に撤回論文としてのスタンプを入れて明示する。

8. 論集発行までの流れ

7月中旬に原稿募集の案内が出され、8月中旬までに投稿申請を所定の用紙にて行う。10月中旬を完成原稿締め切りとし、この日までに完成原稿の電子ファイルと必要事項を記入した原稿整理カードの電子ファイルを e-mail（全学教育機構論集編集委員会 e-mail: kiko-ronshu@ml.ibaraki.ac.jp）にて、添付ファイルとして提出する。印刷した紙媒体での提出の必要はない。この際、提出原稿ファイルのバックアップを忘れずにとるようにする。

その後、10月～翌年1月にかけて編集委員会と著者との間で確認・校正を行い、2月中旬に最終原稿として完成させ、3月下旬に電子ジャーナルとして配布・配信する。

2022年6月22日 改訂